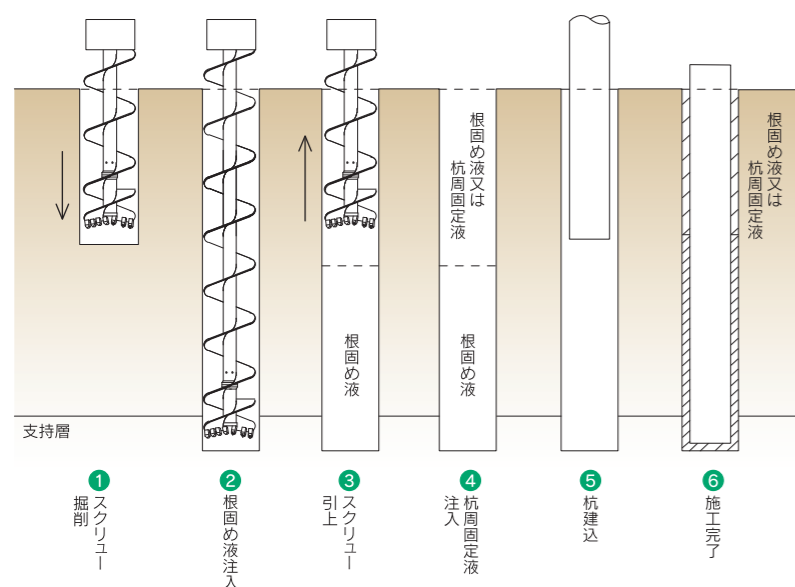


ロックオーガー工法

ドーナツオーガー工法 SMD(一体型)

概要

SMD型ドーナツオーガーは、一台の掘進機構により、内側スクリュー・外側ケーシングを反転し、穿孔を行なうモノタイプのドーナツオーガーです。本機には電動機が一台のものとは二台のものがありますが、いずれもバランスよく配置されており、また機体がコンパクトであるため、取扱いが容易であり、小型のベースマシンに搭載できます。



ロックオーガー機 (削孔径φ500~1000mm)

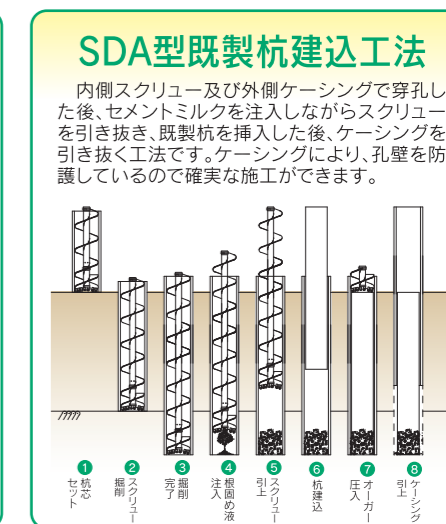
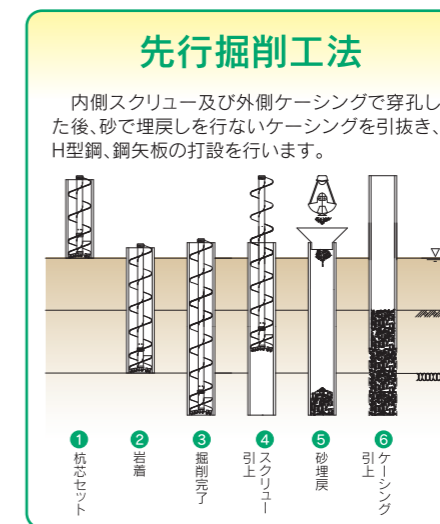
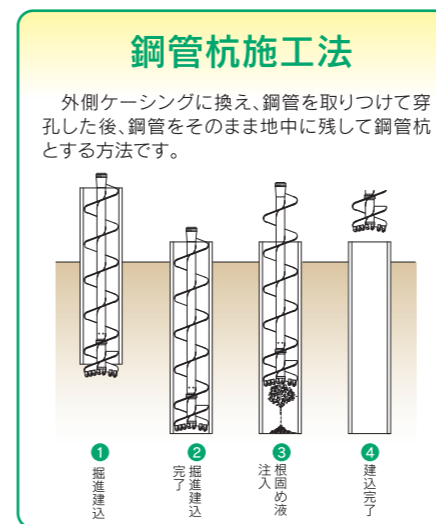
ドーナツオーガー工法 SDA(セパレート型)

概要

SDA型ドーナツオーガーは、内側スクリュー・外側ケーシング共、それぞれ独立した掘進機構を持っており、セットピンの着脱により、内・外スクリューを別々に、あるいは同時に作動させ、穿孔、引抜き等の作業を行なう事ができます。したがってスクリュー先端で土砂を圧密する事がなく、高い掘削効率を発揮します。



(削孔径φ500~1200mm)



ドーナツオーガー工法の特長

- 低騒音・低振動で施工します。
- 砂層及び砂礫層、軟弱層の孔壁崩壊の地層に威力を発揮します。
- オーガースクリューとケーシング両方の特性が生かされて精度の高い施工が期待できます。
- ロックオーガーの施工など硬質地層への掘削や、場所打ち杭施工など大口径で高出力を必要とする施工に適した工法です。
- 外側ケーシングに換え、鋼管杭をそのまま施工することもできます。
- 現場条件と機械特性で有利な施工を選択できます。

